

空き家を活用した“人起点”的地域活性モデル「さかさま不動産」 国土交通省「地域価値を共創する不動産業アワード」 デジタル活用部門にて優秀賞を受賞



株式会社On-Co(本社:三重県桑名市、代表:水谷岳史)が運営する「さかさま不動産」は、国土交通省主催「第3回 地域価値を共創する不動産業アワード」において、デジタルを活用した地域づくりの先進事例として「優秀賞」を受賞しました。

地域価値を共創する 不動産業アワードとは

国土交通省主催の本アワードは、地域の関係者と連携し、**新たな地域価値を共創する不動産業者等**の取組を表彰する制度です。地域づくりに取り組む先進事例を発掘・共有し、地方創生を加速させることを目的としています。

人の想いを可視化し、地域とつなぐ「さかさま不動産」

「さかさま不動産」は、空き家を使って何かを始めたい人の“想い”を記事として可視化し、共感した大家や地域が“借り手を選ぶ”マッチングサービスです。

従来の「物件から選ぶ」構造を“さかさま”にすることで、**関係性が起点**となり、**創業・移住・文化活動**など、まちに新しい担い手が生まれています。

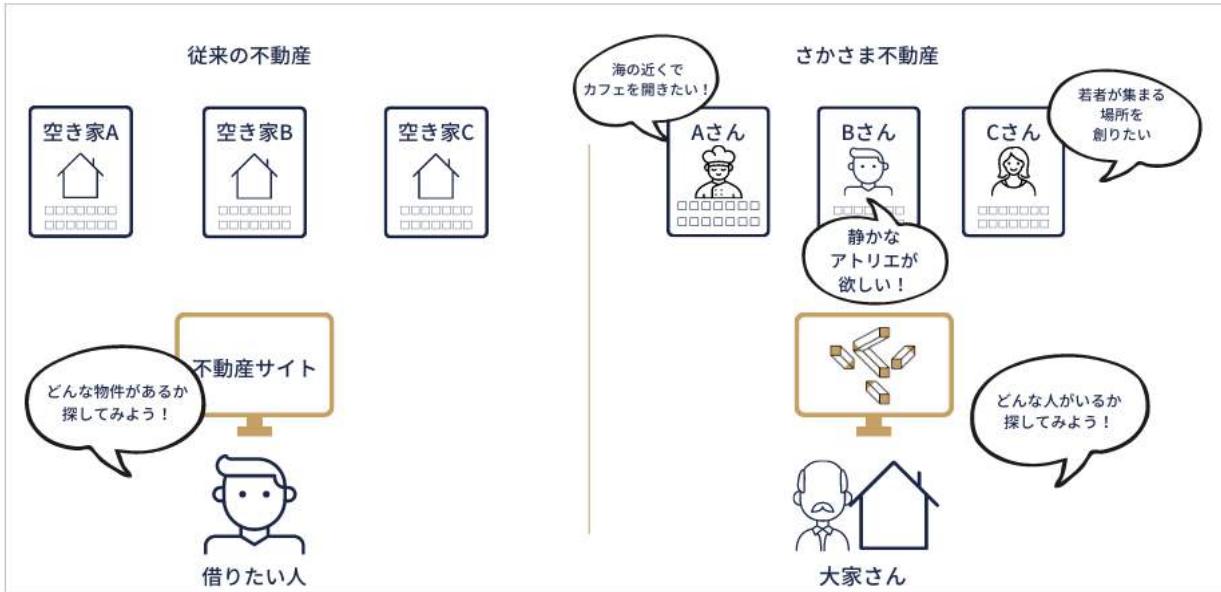
さらに、想いを丁寧に言葉にし、届けるプロセスそのものが**挑戦の後押し**となり、全国各地で実際のアクションへつながっています。

○掲載者数:396名(6月22日時点)

○マッチング:サウナ・本屋・リトリート施設・飲食拠点など 全国34件

○成果:創業支援／関係人口の創出／地域資源の活用／文化的土壤の形成

○支局:岐阜県多治見、京都府伊根町、愛知県西尾市、和歌山県和歌山市など23拠点 など



受賞理由: デジタル × 空き家 × 関係性

本年度の不動産業アワードには、全国から27件の応募があり、以下の観点に基づいて選考が行われました。中でも「さかさま不動産」は、「人」を起点とした不動産活用のあり方や、デジタルの力を活かしたまちづくりの取り組みが高く評価され、今回の受賞に至りました。



- 先進性・共創性・地域活性化性を備えた取り組みであること
- 空き家活用と人材が循環する仕組みなど、人を重視する活動の実践
- 支え合う地域モデルの構築による持続可能性
- 貸主や移住希望者のハードルを下げるための工夫
- チャレンジが生まれる土壤づくり
- 全国への展開に対する期待の高さ

社会インフラとしての“空き家”的進化

5月に政府が示した地方創生の新たな基本構想案では、「ふるさと住民」制度の創設など、関係性重視の地方関与が打ち出されました。

こうした潮流の中、空き家は単なる住居ではなく、「人と地域をつなぐ接点」として価値を持ちます。

さかさま不動産は、空き家を介して「人の挑戦」と「地域資源」をつなぎ、移住・創業・地域参画の起点となる機会を構築。中長期的な関係性と価値循環を生み出す地域共創モデルとして、官民共に注目を集めています。



今後の展開

現在、自治体の人手不足やノウハウ不足に対応する「さかさまAI」の実証実験を進行中。2025年10月の正式実装を目指し、導入希望自治体向けに毎月説明会を開催しています(次回は7/9)。

今後も支局や自治体との連携を深め、地域の文脈に寄り添った“土壤づくり”を進めて参ります。

株式会社On-Co

代表:水谷岳史 | 設立:2019年3月 | 本社:三重県桑名市西別所1375 | 拠点:名古屋市西区新道1丁目13-15昭和ビル

HP:<https://on-co.jp/> | ミッションは「まだない未来をつくる」。強みは社会に必要と感じた概念を具現化させること。さかさま不動産や上回転研究所、丘漁師組合などを展開している

本件に関するお問い合わせ 窓口:武田

TEL:080-5984-7800

mail:support@on-co.co